

高校入試 確率・資料の整理

NO.6

学習日：

/ 点

1 袋の中に、1, 2, 3, 4, 5の数字が1つずつ書かれた5枚のカードがある。
この袋の中からカードを1枚取り出し、それを袋に戻さずに、さらにもう1枚
カードを取り出す。1回目に取り出したカードの数字を十の位、2回目に取り出した
カードの数字を一の位として、2けたの整数をつくる。このとき、次の問いに答えなさい。

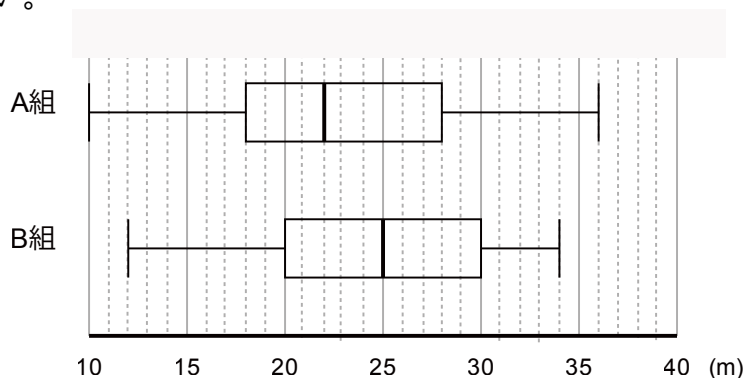
- ① つくることができる2けたの整数は、全部で何通りあるか求めなさい。
- ② つくった整数が「3の倍数」または「40以上」になる確率を求めなさい。

2 ある中学校の3年生A組30人とB組30人が、ハンドボール投げを行った。

下の図は、それぞれのクラスの記録を箱ひげ図に表したものである。

このとき、次の問いに答えなさい。

- ① A組の記録の範囲（レンジ）と
四分位範囲をそれぞれ求めなさい。



- ② 箱ひげ図から読み取れることとして、次のア～エの中から正しいものをすべて選び、
記号で答えなさい。
 - ア A組とB組では、中央値が大きいのはA組である。
 - イ 20m以上投げた生徒の人数は、B組の方がA組より多いといえる。
 - ウ 30m以上投げた生徒は、A組には必ずいるが、B組にはいない。
 - エ 記録の散らばりが大きい（範囲が広い）のはA組である。

解答

- ① 1枚目は5通り、2枚目は残りの4通りなので

$$5 \times 4 = \underline{20 \text{ 通り}}$$

- ② 3の倍数：12, 15, 21, 24, , 42, 45, 51, 54 → 8個

40以上：41, 42, 43, 45, 51, 52, 53, 54 → 8個

重複してるのは 42, 45, 51, 54 → 4個

$$8 + 8 - 4 = 12 \text{ 個} \quad \frac{12}{20} = \frac{3}{5}$$

- ② ① 範囲 $36 - 10 = \underline{26 \text{ m}}$

第1四分位数18、第3四分位数28。

$$\text{四分位範囲} \quad 28 - 18 = \underline{10 \text{ m}}$$

- ② イ、エ

ア 中央値はAが22、Bが25。Bの方が大きいので誤り。

イ A組は18m以上が約23人 B組は20m以上が約23人

ウ Aの最大36、Bの最大34。どちらにも30m以上は存在する

エ 範囲はAが26、Bが22 Aの方が散らばりが大きい